

## ちば里山カレッジ「第 3 回フォローアップ研修」実施報告書

特定非営利活動法人ちば里山センター

題 名	ちば里山カレッジ「第 3 回フォローアップ研修」
日 時	平成 29 年 11 月 25 日（土） 9：00～16：00
会 場	千葉県農林総合研究センター 森林研究所 千葉県木材市場協同組合
出席者	受講生 22 名（8 市）・講師 2 名・スタッフ 2 名
内 容	10：00～11：00 講義「山武林業とサンプスギ」 11：00～12：30 実習「森林研究所構内見学」 講師：千葉県農林総合研修センター森林研究所 所長 福島成樹 氏 13：30～15：00 実習「千葉県木材市場見学」 講師：千葉県木材市場協同組合 常務理事 小安司 氏
報 告	<p><b>講義「山武林業とサンプスギ」</b></p> <p>山武、東金などの山武地域では、古くから林業が盛んで 17 世紀からスギ造林の歴史がある。その特徴は、さし木を使って平地林で混濃をしたこと、降水量の少なさにマツ・スギ 2 段林で対応したことなどであり、地域の自然環境、社会条件に適した山武林業が行われていた。</p> <p>戦後は、形質のいいさし木品種の選抜が行われ、サンプスギとして大面積に植えられたが、非赤枯れ性溝腐れ病の蔓延などがあり、その再生が急がれている。</p> <p><b>実習「森林研究所内の見学」</b></p> <p>スギ品種のクローン見本林、コンテナ苗（マルチキャビティコンテナ）の現状、コナラ林の萌芽更新、外国産樹種など幅広く見学した。受講生からは関連する話題も含めて熱心な質問があり、予定時間を大幅に超過する見学となった。</p> <p><b>実習「千葉県木材市場の見学」</b></p> <p>木材市場の基本的な仕組みは、伐採した太さの異なる材を持ち込むと、太さ別に選別して入札（せり）用の「はい」に積み上げ、せりにかけることである。購入者は、必要とする太さのそろった「はい」に札を入れる。</p> <p>原木市場には、針葉樹ではスギ、ヒノキ、サワラ、広葉樹では、ケヤキ、クス、スダジイ等が入荷しており、取り扱い樹種は 10 を超えるとのことであった。見分けの難しいヒノキとサワラの比較見本教材などを用いて、判りやすい説明があった。</p> <p>製材品市場では、天然乾燥と人工乾燥の違い、柱などに使う構造材と壁、床などに使う内装材の区分、その評価、単価などについて、ユーザー視点、出展者視点の両面から解説があった。</p> <p>木と住まいの情報館「モクイチ」では、暮らしの中に木材を取り入れることのメリット、注意点が理解しやすい展示があり、受講生から多くの質問があった。</p>

添付資料（写真）



福島所長



サンブスギ林の特徴



全国のスギ品種見本林



雑木林の萌芽更新



木材協同市場



小安常務理事



モクイチ内部